

# 1 学生生活への助言・相談

学生生活の中で、教員と接して個人的に指導を受けることは非常に大切なことです。本学では学生と教員の交流には特に留意して、学生アドバイザーと学生相談室の二つの指導・助言制度を設けています。

## (1) 学生アドバイザー制度

専任教員が学生アドバイザーとなり、生活や身上について個人的な相談相手となり、適切な指導・助言をする制度です。

たとえば

- 先生と親しく話がしたい。
- 勉学上のアドバイスがほしい。
- 履修方法や授業科目の選択などについて迷っている。
- 学業成績のことで心配がある。
- 将来の進路や方針を考えたい。
- 家計が苦しく、勉学が続けられない。

など、どのようなことでも相談して、有意義な学生生活を送ってください。  
 学生アドバイザーの一覧は、毎年4月中旬にUNIPAに公開します。

## (2) 学生相談室

カウンセリングセンターとして、学生の様々な悩みごとについて相談を受け付けています。学生相談室は、あらゆる相談に応じ、問題の解決に協力し適切な指針を与えることを目的としています。相談員には専門家があたり、相談の内容については個人の秘密が厳守されています。

たとえば

- 学校が面白くない。
- もっと充実した学生生活を送りたい。
- 今と違った生き方があるのではないかと迷っている。
- 誰とも自由につきあえるようになりたい。
- 自分の性格について知りたい。
- 自信がなく、なんとなく不安がある。
- 他人とうまくゆかない。
- 人とうまく話ができない。

など、どのような相談でもかまいません。

### (3) こころとからだのサポート 24

※学生支援センター（学生厚生担当）窓口設置のパンフレット参照

電話（フリーダイヤル）により、24 時間年中無休で、外部委託の専門機関が心身の相談を受け付けています。

## 2 留学・海外語学研修

本学では、海外の協定校等での語学研修や留学プログラムに参加することを、推奨しています。3 週間程度の語学研修から 1 年未満の留学までさまざまな形態があるので、事前の準備等も含めて計画的に検討するようにしてください。

### (1) 留学・海外語学研修の種類

#### ①英語短期研修

海外協定校にて実施されている英語短期研修プログラムは以下のとおりです。各大学の語学教師による少人数教育であり、所定の成績を修めれば、「海外短期英語研修」の単位として認定されます。

- 1) コロラド大学ボルダー校（米国）：8 月に実施（約 3 週間）、募集は 5 月頃
- 2) シドニー大学（オーストラリア）：3 月に実施（約 3 週間）、募集は 10 月頃

#### ②その他の海外研修

単位の認定はありませんが、上記に加えて以下の語学研修等を実施しています。

- 1) 韓国語研修：大邱大学（韓国）にて、8 月に実施（約 3 週間）、募集は 5 月頃
- 2) 中国語研修：中原大学（台湾）にて、3 月に実施（約 3 週間）、募集は 10 月頃
- 3) インドネシア研修：ヌサンタラマルチメディア大学（インドネシア）にて、3 月に実施（約 2 週間）、募集は 10 月頃

#### ③協定校留学

本学と外国の大学との学生交流協定によって留学する制度です。協定校への留学に関する要望については個別に対応していますので、国際センターに問い合わせをしてください。

#### ④認定校留学

留学希望者本人が外国の大学等から留学または受入れ許可を取り、本学がこれを許可し、留学する制度です。

- \* 本学では学生諸君が在学中に海外の大学に留学することを制度として認めています。留学とは外国の大学またはこれに相当する高等教育機関に一定期間在学して教育を受けることを言います。事前に所定の申請手続きを行い留学と認められる必要があり、事前の許可を受けずに渡航したり、大学の正規教育課程以外のコースで学んだりしても、本学からの留学とは認められないので注意すること。

## (2) 留学・海外語学研修への参加にあたり

留学や海外語学研修に関する相談については、国際センターで随時対応しています。

### ①海外語学短期研修

これまでに語学研修の募集要項や参加した学生の報告を国際センターで閲覧できるので、準備にあたってはこれらを参考にしてください。

### ②留学

長期の留学を希望する場合には、語学力の向上を含めた準備が重要ですので十分に留意してください。特に英語圏に留学する場合は、TOEFL (Test of English as a Foreign Language) などの受験とそのスコアカードが必要です。留学先により基準となる点数があり、それを満たすためには通常半年から1年の準備期間が必要です。

また留学予定先大学等において履修を希望する授業科目や本学の履修などについて、留学前に学科および工学部・未来科学部事務部の履修指導を受けてください。

## (3) 国際センターについて

国際センター（千住キャンパス2号館3階 9時～17時）

「国際センター」ではTDUの特色を活かした国際交流の実践に向けて、学生や教職員の人的な交流を進めるために、あるときは留学生の日常的な相談相手として、またあるときは日本人学生の海外留学のお手伝い役として、さまざまな支援を行っています。

国際センター千住ラウンジ（千住キャンパス1号館4階 10時～17時）

「国際センター千住ラウンジ」では、常駐するスタッフに留学や大学生活について相談できるだけでなく、留学生と日本人学生が交流できるスペースを設けています。

# 3 学割証（学生旅客運賃割引証）

## (1) 学割証の使用用途（発行条件）

帰省・正課教育・課外活動・就職活動・修学見学等で、遠距離へ乗り物で移動する場合で、乗車区間が片道100km以上ある場合に、学割証が利用できます。

## (2) 学割証の申込方法

2号館3階の証明書自動発行機にて取得してください。

## (3) 学割証利用上の注意

①学割証の使用は、記名本人以外は使用不可（不正使用をすると追徴金が科せられ以後、発行停止になります）。

②必ず学生証を携帯してください。

③学割証の有効期間は発行日から3ヵ月間です。

#### (4) 団体旅行

学生団体運賃割引制度は、学生と引率教職員同行で利用できます（人数の条件・割引率は、鉄道会社によって異なります）。

利用の際は、「学外活動願」とともに「団体旅行申込書」（駅・旅行会社にあり）に必要事項を記入し、学生支援センター（学生厚生担当）に提出してください。

## 4 自転車駐輪場

本学では、公共交通機関以外を用いての通学は原則禁止しています。特に、バイク、自動車による通学は一切禁止していますので充分留意してください。ただし、駐輪場利用許可者の自転車通学は許可制により認めています。

### (1) 自転車駐輪場

利用希望者は、学生支援センター長の許可を経て、利用料金（年間 10,000 円・半期 6,000 円）を納入し、駐輪場を使用できます。

募集説明会および安全運転講習会は、4 月と 9 月に実施しています。＜学生支援センター（学生厚生担当）開催＞説明会の日程は UNIPA 等で連絡しますので注意してください。

#### 【駐輪場利用許可条件】

1. 原則として自宅から東京千住キャンパスまでの距離が徒歩 12 分（1,000 m）以上で徒歩 60 分（4,800 m）以内（GoogleMap ルート計算基準）この条件外の希望者は理由書を添付
2. 規程違反した場合には資格を失うことを誓約する
3. 卒業・退学・除籍者は利用資格を失う
4. 年度途中で駐輪場の利用をやめる場合も、納付済みの利用料金は原則として返金しない
5. 学生支援センター長は無登録自転車を、撤去・処分することができる

万一、自転車駐輪場使用許可を受けた学生以外で、車両通学を続ける学生がいた場合は、学則上の処分（退学・停学・訓告）をおこないますので十分注意してください。

また、駐輪場内での盗難等については、利用者の自己責任で管理してください。特に、着脱可能な部品については十分に注意してください。

なお、身体障害者手帳を持つ学生等については、別途願い出により特別に許可することがありますので、学生支援センター（学生厚生担当）へ問い合わせてください。

※不法駐輪、駐車車両等は場合により撤去することがあります。

## 5 健康管理

充実した学生生活をおくるには、健康が第一に挙げられます。特に若い人たちは、自己の体力を過信して、限界を超えた不規則な生活が元で健康を害する事がありがちです。食事・睡眠・運動のバランスの取れた規則的な生活で、自己管理に努めてください。

### (1) 学生相談

学生相談室では、進路、単位などの学業上の問題、不眠、無気力などの精神的な問題、家族、友人とのトラブルなど様々な悩みについて、臨床心理士の資格をもったカウンセラーが相談に応じています。一人で考えても、解決が見つからない時は、抱え込まずに、気軽に相談室を利用してください。相談内容に関しては、担当者以外にもれることはありません。

場所は、2号館3階、健康相談室の隣です。

開室時間 月曜～金曜

(曜日によって担当者、開室時間は違います。HP、パンフレットなどで確認してください。)

予約は電話、あるいは、メールで受け付けています。

電話番号 03 - 5284 - 5346

メールアドレス ko-gakuso@cck.dendai.ac.jp

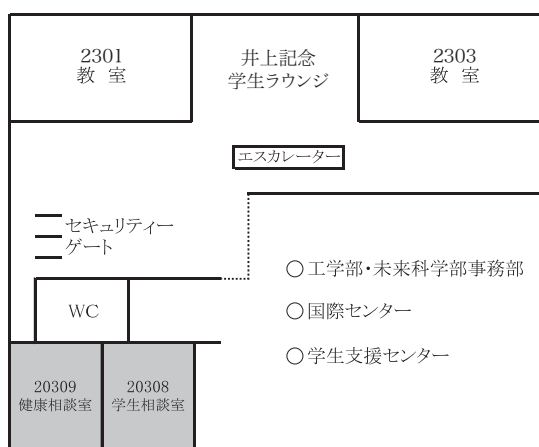
※学生やその保証人を対象として、外部機関を利用した、「電話相談サービス」も利用できます。詳細は、別配布のパンフレット等を参照してください。

### (2) 健康相談

授業中や課外活動中など学内で気分が悪くなったり、思わぬケガをした時は、すぐに健康相談室に来室してください。健康相談室では、校医の指導のもとに看護師資格をもった職員がそれぞれの応急の処置にあたっています。また、必要時、近隣の医療機関を紹介します。

また、平常の健康相談にも応じています。身長計、体重計のほか自動血圧計や体組成計等も設置して、自由に利用できますので、気軽に来室してください。

<2号館3階>



\* 事務室自動ドア入口から入って奥



### (3) 健康保険証について

一部の健康保険証は、ひとり1枚のカードになっています。携帯しやすくなると、便利な反面、紛失しやすくなりますので、注意してください。

一家に1枚しか保険証が発行されていない場合、親元を離れて生活を始める学生は、急な受診に備えて、「遠隔地被扶養者健康保険証」を用意してください。必要書類（手続き）等は加入している健康保険の発行者に問い合わせてください。

### (4) 健康診断

#### ①定期健康診断

毎年春に、全学生を対象とした定期健康診断を実施しています。これは法に基づいたもので、学校が集団生活の場である事と、疾病の予防、早期発見を目的としています。受診しない場合、就職や進学、アルバイト等で健康診断証明書を必要とした時に発行されない他、体育実技の授業、英語短期研修、その他の実習等の参加にも影響します。必ず受診してください。

[定期健康診断実施項目]

- ①胸部X線間接撮影、②身体計測（身長、体重、視力）
- ③内科診察、④尿検査、⑤血圧（一部の学生）

#### ②その他の健康診断

クラブ検診：体育系のクラブに所属して、練習や大会・合宿等に参加する学生（4年生やマネージャーも含む）を対象に実施します。詳しい日時はクラブの代表を通じて連絡しますので、必ず受診してください。

<実施項目> 問診、血圧測定、心電図検査

#### ③健康診断証明書

学生証を用いて、証明書自動発行機にて発行されます。

料金：1通200円

## 6 保険制度

### (1) 学生教育研究災害傷害保険（学研災）

「学生教育研究災害傷害保険」（学研災）は、正課および課外活動中または通学途中などに発生した傷害事故を補償する制度です。

入学手続き時に修業年限分の保険料を納入し、全員が加入者です。この保険の窓口は学生支援センター（学生厚生担当）です。学内外を問わず、事故にあったときは、必ず連絡してください。

なお、留年等により、正規の修業年限を超えた場合は、再加入の手続きが必要となります。

保険料・保険期間を確認の上必ず学生支援センター（学生厚生担当）にて手続を行ってください（\*入学時配布「学生教育研究災害傷害保険のしおり」参照）。

●保険金の種類・金額

	保険金額		死亡	後遺障害	医療	入院 (日額)
	担保範囲					
学研災 2,000万円 コース	正課中 学校行事中		2,000万円	120万円～3,000万円	0.3万～30万円	4,000円
	上記以外で学校施設内にいる間		1,000万円	60万円～1,500万円	3万円～30万円	
	学校施設外での 課外活動中		1,000万円	60万円～1,500万円	3万円～30万円	
通学特約	「通学中」 「学校施設等と 相互間の移動中」		1,000万円	60万円～1,500万円	0.6万～30万円	

(注) 1) 医療保険金は、平常の生活ができるようになるまでの治療日数に応じて異なります。

2) 正課・学校行事中の事故は実治療日数（実際に入院または通院した日数）が、1日目から支払われます。また、上記以外の学校施設内にいる間の事故、課外活動中の事故は、実治療日数が14日以上、移動中の事故は、実治療日数が4日以上の場合に支払われます。

◎保険料・保険期間（学生教育研究災害傷害保険+通学中等傷害危険担保特約）

保険期間	保険料適用区分	
	昼間部	夜間部
1年間	1,000円	450円
2年間	1,750円	750円
3年間	2,600円	1,100円
4年間	3,300円	1,400円

(注) 1) 保険期間は所定の修業年限です。

2) 保険期間の切れた者（留年・休学者）は、1年間保険料を納入し再加入してください。

3) 詳細は、「学生教育研究災害傷害保険のしおり」参照のこと。

(2) 学研災付帯賠償責任保険（学研賠）

学外機関での研究期間中、正課、学校行事中、およびその往復で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより法律上の損害賠償責任を負担することにより被る損害を補償します。

この保険は任意加入で学外の研究機関に実習へ行く際には、学生支援センター（学生

厚生担当)で手続きを行ってください。また申し込みは学生教育研究災害傷害保険(学研災)の加入が義務付けられています。

●保険金の種類・金額

賠償責任保険 概要		活動内容
		正課、学校行事およびその往復
補償内容	対人賠償	1事故1億円限度
	対物補償	

(注)学外での実習先決定後、学生支援センター(学生厚生担当)で加入の手続きを行ってください。

(\*詳細は「学研災付帯賠償責任保険のしおり」(加入時に配付)を参照のこと)

◎保険料・保険期間

保険料(1年間)	340円
----------	------

(注)保険期間は加入日の翌日～年度末

(3) インターンシップ・教職資格活動等賠償責任保険(インターン賠)

学生が在学中に自らの専攻や将来のキャリアに関連した企業等での就業体験(インターンシップ)中や教育実習期間中、ボランティア活動中およびその往復で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより法律上の損害賠償責任を負担することにより被る損害を補償します。

任意加入制でインターンシップは、学生支援センター(キャリア支援・就職担当)、教育実習は工学部・未来科学部事務局(教務担当)で手続きをしてください。また申し込みは学生教育研究災害傷害保険(学研災)の加入が義務付けられています。

●保険金の種類・金額

賠償責任保険の概要		活動内容
		インターンシップ、教育実習、ボランティア活動およびその往復
補償内容	対人賠償	1事故1億円限度
	対物補償	

(注)インターンシップ受入企業決定後、学生支援センター(キャリア支援・就職担当)で加入の手続きを行ってください。

(\*詳細は「学研災付帯賠償責任保険のしおり」(加入時に配布)を参照のこと)



## ◎保険料・保険期間

保険料（1年間）	210円
----------	------

（注）保険期間は加入日の翌日～年度末

# 7 奨学金制度

奨学金制度は教育の機会均等の精神に基づき、日本学生支援機構をはじめ各種の団体により設けられており、学業成績・人物ともに優秀であって経済的に困窮している学生に対して奨学金を貸与または給付するものです。

奨学金関係の事務は学生支援センター（学生厚生担当）で扱っています。募集をはじめ奨学金関係の連絡はすべて UNIPA で主におこないますので、見落とすことのないよう十分注意してください。なお、家庭の経済事情の急変などのため奨学金を希望する者は、随時、相談してください。

主な奨学金制度には次のものがあります。

### （1）特別奨学金（本学独自）

故桜井虎三郎氏の遺志により、桜井家からの寄付金および学校法人東京電機大学からの積立金を基金として設立された奨学金です。学業成績・人物ともに優秀な本学学生で、経済的理由により修学困難な者に対して給付されます。

資格	本学部の2～4年に在学し、人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者 私立大学等経常費補助金の補助適用とした家計基準があります。
給付額	学費の一部または全額（平成26年度：28万円）
給付期間	1年
募集時期	5～6月
採用者数	工学部8名、未来科学部4名、工学部第二部2名、理工学部8名、 情報環境学部3名（平成26年度）

## (2) 大学院進学特別奨学金（本学独自）

本学学部成績優秀者の本学大学院修士課程への進学促進のための経済的支援策として、学内推薦入試の合格者を対象に奨学金の給付を行う奨学金制度です。

資 格	学内推薦入試で合格した学部生のうち、成績ならびに人物が優秀な者。 本学学部生で本学大学院修士課程の9月入学者および入学後に休学、留年をしたことがある学生は対象外です。 また、大学院修士課程入学初年次において、学内外に関わらず他の給付奨学金と本奨学金を併用することはできません。
給付額	年間授業料相当額（大学院初年次のみ）
給付期間	1年
募集時期	9～10月
採用者数	各学科1名

## (3) 東京電機大学学生救済奨学金（本学独自）

保証人（家計支持者）の経済的な理由で学費の支払いが困難となり、学業半ばにして学業継続を断念せざるを得ない学生に対して奨学金を貸与し、学業継続の機会を与えるものです。在籍期間中1回に限り貸与されます。

資 格	大学院・学部にて在籍する学生
貸与額	学費の1/2相当額
募集時期	4月と9月の年2回
採用者数	27名（平成26年度）
返 還	無利子・卒業後5年間

## (4) 東京電機大学学生支援奨学金（本学独自）

本学主催の海外英語短期研修への参加および高額な教育装置の購入など自己資質向上を目的とする学生に対して、支援奨学金を貸与することにより、学生の学業・学生生活を支援するものです。在学期間中1回に限り貸与されます。

資 格	大学院・学部にて在学する学生
貸与額	30万円以内にて査定
募集時期	随時
採用者数	10名（平成26年度）
返 還	無利子・最長卒業後5年間

### (5) 東京電機大学学生応急奨学金（本学独自）

本学への特定の寄付金をもって設置された奨学金です。本学の学生で人物優秀にして学業成績良好であり、かつ家計の急変により学費の支弁が困難な者に対して給付されます。

資格	学部在学し、人物優秀で学業成績優秀、かつ学費支弁が困難な者
給付額	50万円の範囲内で決定
募集時期	定期的な募集は行っていません。1年以内に家計急変があり学費支弁が困難な者で、他奨学金の貸与状況・家計急変状況・学費延納状況等から総合的に判断し、応急奨学金の趣旨に相応しい人物を採用します。
採用者数	2名（平成26年度）

### (6) 東京電機大学校友会・新電気奨学金（本学独自）

東京電機大学校友会が昭和59年度より設立した奨学金で、家庭の経済的事情の急変により学業継続が困難な学生に対して在籍期間中1回に限り奨学金が貸与されます。

資格	本学学生
貸与額	1回に納入する学費等の相当額。卒業後5年間で返還（無利子）
募集時期	随時。但し、学費に充当するため、学費納入期限以前に応募することが望ましい。
採用者数	1名（平成26年度）

## (7) 日本学生支援機構による奨学金

優秀な学生で経済的理由のため修学困難な者に対して貸与される奨学金で、「第一種奨学金（無利子）」と「第二種奨学金（有利子）」とがあります。

### 【第一種奨学金】（無利子）

成績基準	1年次生については、高等学校での評定平均値が3.5以上であること。 2年次生以上については、クラスの上位1/3以内の成績であること。
貸与額	自宅：30,000円 または 54,000円 自宅外：30,000円 または 64,000円 （平成26年度）
貸与期間	最短修業年限（4年）の終期まで。 ※奨学生として適格性を失ったときは、奨学金貸与が停止または取消される場合があります。
募集時期	原則として4月上旬の1回限り

### 【第二種】（有利子）

成績基準	本人が奨学金借用にあたって適確な意識をもっていること
貸与額	3万円・5万円・8万円・10万円・12万円の中から選択（平成25年度）
貸与期間	最短修業年限（4年）の終期まで。 ※奨学生として適格性を失ったときは、奨学金貸与が停止または取消される場合があります。
募集時期	原則として4月上旬の1回限り

\*併用貸与……第一種奨学金の貸与のみでは学業継続が困難な者に対しては、第二種奨学金をあわせて貸与することがあります。

平成26年度 本学 日本学生支援機構奨学生数

	第一種	第二種	計
工学部・工学部第一部	339	763	1,102
未来科学部	180	436	616
工学部第二部	100	183	283
理工学部	321	792	1,113
情報環境学部	135	334	469
計	1,075	2,508	3,583

## (8) 各種団体による奨学金

地方公共団体、その他民間育英団体の奨学金が各種あります。詳しい内容は、募集の依頼があり次第掲示でお知らせします。ほとんどの奨学金が4月～5月上旬に募集を行いますので、掲示を見逃さないように注意してください。このほかに大学を通さずに募集される場合もありますので、直接地方公共団体等に問い合わせることも必要です。

## 大学に前年度募集依頼のあった地方公共団体・民間育英団体（抜粋）

平成 26 年度（単位：円）

名 称	貸給	月 額	出 願 資 格
福 島 県	貸与	40,000	県内に居住する者の子女
茨 城 県	貸与	自宅外 40,000 自 宅 36,000	県内に居住する者の子女
石 川 県	貸与	44,000	県内に居住する者の子女
新 潟 県	貸与	51,000	県内に居住する子弟
山 口 県	貸与	52,000	県内に居住する者の子女
宮 崎 県	貸与	自 宅 53,000 自宅外 63,000	県内に居住する者の子女
足 立 区	貸与	45,000	足立区内に 6 ヶ月以上居住している者
(財)前澤育英財団	給付	30,000	新 1 年次生で東京都民の子女または東京都に居住している者
池田育英会トラスト	給付	17,000	愛媛県内の高校を卒業している 2 年生以上の者
(財)交通遺児育英会	貸与	40,000 ~ 60,000	交通遺児、保護者に重度の後遺障害がある者
あしなが育英会	貸与	40,000	保護者が病気または災害により死亡したり、重度の後遺障害がある者
(財)中村積善会	給付	30,000	他の奨学金を受けていない者
(財)日揮・実吉奨学金	給付	300,000（年額）	人物・学力ともに優秀な者
(財)関育英奨学会	貸与	30,000	2 年次生で学業・人物ともに優秀な者
(財)守谷育英会	給付	100,000	学力優秀・心身ともに健全な者
(財)中部奨学金	貸与	35,000	人物・学業ともに優秀な者
(財)オーデオテクニカ奨学金	給付	20,000	東京都内に在住し、2 年次以上で年に 1 回奨学生の集いに出席できる者
(財)フジール教育振興財団	給付	50,000	応用化学・機械工学・電気電子工学を学ぶ者、パッケージに興味のある者
(財)信濃育英会	給付	300,000（年額）	ボランティア等あらゆる分野の活動を通じて明るい社会を築くために貢献している者
三菱商事復興支援財団	給付	100,000	東日本大震災による火災・水害等で被災した者
(財)起業家支援財団	給付	30,000	起業家を目指す学生
(財)川本奨学財団	給付	25,000	学業優秀・品行方正な者
(財)種とまと財団	給付	50,000	理工系大学の 3 年生、学業優秀、健康、品行方正な者

新入生へ  
 学生生活  
 学修案内  
 共通  
 E J  
 E H  
 E S  
 E K  
 E F  
 E C  
 履修案内  
 U N I P A  
 資格・免許  
 教職課程  
 事務扱い  
 学籍・学費  
 生活案内  
 各種施設  
 就職・進学  
 学則・規程  
 沿  
 革  
 校歌  
 学生歌  
 警  
 研  
 究  
 組  
 織  
 キ  
 ャ  
 ム  
 パ  
 ス  
 案  
 内



## 8 短期貸付金制度

短期貸付金制度は、皆さんが緊急に金銭を必要とする場合に貸付をする制度で、学生支援センター（学生厚生担当）で取り扱っています。

この貸付制度は、同窓会の先輩の皆さんが設けた東京電機大学同窓会助け合い基金をもって運用されています。

### 【短期貸付金の取扱い】

取扱時間	月曜日～金曜日 9:00～19:50
	土曜日 9:00～18:50
貸付金額	10,000円（一律）
貸付期間	1ヶ月以内（返済期日厳守）

授業期間外の取扱時間は、窓口時間に合わせて短縮または変更する場合があります。一日に貸付できる人数には限りがあります。また、返済期限を過ぎた場合は、今後の貸付が禁止となり遅延手数料が発生します。金銭の借用については返済の見通しを立ててから行動し、助け合い基金の趣旨に反した安易な借用は認めませんので注意してください。

## 9 賃貸アパートの紹介

東京千住キャンパスでは直接斡旋はしていませんが、大学生協等で取扱業者の案内をします。

## 10 課外活動

大学の課外活動の目的は、団体の活動に参加することによって、自主性を養い、協調精神を身につけ秩序を知り、自己の人間形成に役立てることにあります。しかし、課外活動に必要な以上のエネルギーを費やし学生の本分である勉学がおろそかになるようであってはなりません。皆さんは、課外活動のこの趣旨目的を十分に把握した上で各自の個性に合った団体を選び意義ある学生生活を過してください。

課外活動をおこなう上での諸手続遵守事項の概要は次の通りですが、詳しくは「学生生活についての規定」を参照してください。

### (1) 学外活動をおこなう場合

学生の団体が学外で活動する場合は、「学外活動要領」に基づき学生支援センター（学生厚生担当）備えつけの「学外活動願」に記入の上、活動開始の2週間前までに学生支援センター

(学生厚生担当)に届け出なければなりません。学外活動終了後はすみやかに「学外活動報告書」を提出してください。

## (2) 学内集会をおこなう場合

学生の団体が学内で集会をおこなう場合は、「学内集会要領」に基づき学生支援センター(学生厚生担当)に備えつけの「学内集会願」に記入の上、東京千住キャンパスで集会をおこなう場合は学生支援センター(学生厚生担当)に、千葉ニュータウンキャンパスで集会をおこなう場合は原則として情報環境学部事務部に届け出なければなりません。ただし、学生支援センター(学生厚生担当)の窓口でも千葉ニュータウンキャンパスでの集会を申し込むことができます。

# 11 アルバイト

本学ではアルバイトを希望する学生にその紹介をおこなっています。しかし学生の本分である学業が疎かになってはなりません。教育的配慮と事故防止の観点から時期と職種を制限しています。

## (1) 取扱窓口 及び 大学宛求人票公開

2号館3階学生支援センター(キャリア支援・就職担当)

## (2) 時期の制限

通常授業が行われている期間は紹介しません(家庭教師・塾講師のみ随時紹介)。ただし長期休業中(夏季・冬季・春季)は紹介します。

学業に支障がないことが原則です。

## (3) 職種の制限

制限職種一覧表を参照してください。

## (4) 申込方法

公開されている求人票に連絡先が記載されているので、直接求人先に応募してください。

## (5) 勤務上の注意

- ①労働内容、条件などが求人票に記載されている内容と著しく異なる場合には、学生支援センター(キャリア支援・就職担当)に申し出てください。
- ②病気、急用、その他突発的な理由で遅刻・欠勤などする場合には、必ず勤務先へ連絡してください。安易な行動は勤務先へ多大な迷惑をかけるばかりでなく、自分の信用を落とすこととなりますので特に注意してください。

## (6) 学生アルバイト情報ネットワークの利用について

WEB 上で「学生アルバイト情報ネットワーク」を利用し、アルバイト求人情報を取得できます。下記の HP より、ログイン ID とパスワードを取得して利用してください。

尚、当システムは、学外のシステムとなります。当システムを利用し、紹介を受ける場合、職種の制限や問い合わせ先が異なりますので、注意してください。詳しくは、下記 URL を参照してください。

【学生アルバイト情報ネットワーク】 <https://www.aines.net/dendai>

### 〔制限職種一覧表〕

	具 体 例	理 由 及 び 参 考 事 項
危険を伴うもの	●プレス、ボール盤、旋盤、裁断機など自動機械の操作	危険で、事故が伴う。 (例外…理工系でその専攻に役立つもの)
	●高電圧、高圧ガス等危険物の取扱い (助手も含む)	免許を必要とし、高度の危険がある。
	●自動車、単車の運転、自転車による重量物 (30kg 以上) の配達	最近の厳しい交通状況から危険度も高く、 また事故を起こした場合の経済的・精神的 負担が重く、刑事責任まで負うことになる。
	●線路内や交通頻繁な路上での作業(測量、 白線引き、交通整理)	
	●土木・水道工事現場作業	
	●建築中の現場作業、建物倒壊、残材片付作 業	落下物・転落等の危険度が大きい(内装工 事は除く)。
	●2 階以上の高所での屋外作業(硝子ふき、 器具取りつけ等)	
	●ヘルメット着用が必要とされる作業	
害なもの 人体に有	●警備員	会場整理、誘導、受付は除く。
	●農薬、劇薬など有害な薬物の扱い(メッキ 作業、白蟻駆除等)	健康上、人体に有害と考えられる。
	●特に高温・低温度の作業	
法令に違反するもの	●塵埃、粉末、有害ガス、騒音等の著しい中 での作業	
	●労働争議に介入するおそれのあるもの	職業安定法 20 条参照
	●営利職業斡旋業者への仲介斡旋	職業安定法の趣旨(雇用関係の成立の斡旋) に反する。
	●マルチ・ネズミ講商法に関するもの	無限連鎖講の防止に関する法律参照
	●出来高払(一定額の賃金の保証のないもの)	労働基準法 27 条参照
	●募集・採用の対象を男性のみ又は女性のみ とするもの	男女雇用機会均等法参照
●募集・採用の人数を男女別に設定するもの		
	●募集・採用に当たり、性別により異なる条 件を付すもの	

	具 体 例	理 由 及 び 参 考 事 項
教育的に好ましくないもの	●街頭でのチラシ配り、ポスター貼り	内容的に問題があったり、無許可の場合が多い。
	●不特定多数を対象とした街頭や訪問による調査	相手側の了解が得られない場合が多く、トラブルの原因となることが多い。
	●訪問販売、勧誘、専門に行う集金	
	●競馬、競輪場等、ギャンブル場内の現場作業	
	●バー、マージャン、パチンコなどの風俗営業の現場作業、長期継続の深夜作業	
	●夜間作業	
	●選挙の応援に関する一切の業務	大学としては特定の政党や候補者を応援することは望ましくない。
	●スパイ行為、興信所業務に類する調査	
望ましくない求人	●人命にかかわることが予想される業務	水泳指導員、監視員、ベビーシッター等
	●労働条件が不明確なもの	賃金、時間、場所、労働内容、支払方法等に関することが明示されていないもの。登録制によるもの。
	●人員の限定を条件とするもの	例えば 10 人中 1 人でもかけると他の 9 人を不採用とするようなもの。
	●学生を紹介しても採否の連絡が無かったり、正当な理由なく採用されないことがしばしばくり返されるもの	
	●各大学の判断により好ましくないもの	

## 12 後援会

### (1) 後援会について

後援会は学生の父母（または、保証人）と教職員が会員となり、会員の中から選出された役員により、学生が充実した楽しいキャンパスライフを過ごせるように様々な事業を行っています。

また、後援会の事業は会員の皆様からの会費によって運営されています。

## (2) 後援会の事業

- ・ 父母懇談会の開催  
 各キャンパス及び全国各地（10会場・H26年度実施）で開催をしています。父母懇談会では、会員へ大学の現況報告をお知らせし、教職員と面談する機会を設けています。父母懇談会は父母同士の意見交換や懇親の場でもあります。
- ・ 『父母のための東京電機大学ガイド』の発行
- ・ 会誌『学苑』の発行  
 年に3回、会員へ郵送しています。学苑には、学生生活の報告、教育・事業の報告、大学行事の報告等が掲載されています。
- ・ メールマガジン配信  
 『学苑』でお伝えしきれない内容や緊急連絡等をメールマガジン登録会員（父母）へ配信しています。
- ・ クラブ活動への補助  
 委員会・クラブ・同好会の課外活動に対し、補助金による支援を行っています。
- ・ 学園祭・体育祭への補助  
 旭祭（東京千住キャンパス）、鳩山祭（埼玉鳩山キャンパス）、秋葉祭（千葉ニュータウンキャンパス）及び全キャンパスが一同に集う合同体育祭に補助金による支援を行っています。
- ・ キャリア・就職支援  
 学生と本学卒業生が懇談し、卒業生の活動状況と将来計画の相談等を行う『仕事研究セミナー』の開催に対して補助金による支援を行っています。
- ・ 国際交流への補助  
 学生と留学生との交流をはかるため、特に国際センターHPの留学促進ページの更新等など、学生へ海外留学の魅力を広報することに対して補助金による支援を行っています。

後援会のホームページ

[http://www.soe.dendai.ac.jp/gakusei/G\\_supporter\\_association/supporter\\_association.html](http://www.soe.dendai.ac.jp/gakusei/G_supporter_association/supporter_association.html)



# 13 校友会

みなさんが学生生活を送る中で、校友会・同窓会という言葉を目にする機会が多々あると思います。ここではその校友会・同窓会活動について紹介します。

## 1 校友会と在学生とのかかわり

校友会を卒業生の親睦団体と考えている方も多いと思いますが、本学園と連携し、在学生のみなさんへの支援も行っています。学園祭等の全体行事援助、奨学金貸与、クラブ活動への補助など、積極的な支援活動を展開しています。

## 2 校友会組織と活動

現在、校友会には各校（大学、中学校・高等学校）の同窓会、各県支部（みなさんの出身地にもあります）や公認団体として、職域電機会（企業内同窓会）があります。将来、これら支部組織が就職活動等でみなさんの力になることと思います。

また、卒業生情報の管理や会誌「工学情報」の編集・発行など、在学生や卒業生のための活動を積極的に展開しています。

## 3 東京電機大学校友会新電気奨学金

この奨学金制度は、各学期の学費納入期限までに募集しています。学生本人または保証人の事情により学費等校納金の支払いに困難な状態が生じた場合に、書類審査及び面接により校友会が貸与するものです。

貸与を希望する方は下記の要件を確認した上で、学生アドバイザーあるいは学生支援センター（学生厚生担当）に相談してください。

貸与額：学費（授業料及びこれと同時に納付する金員を含む）の 1/2 相当額

返 還：卒業後半年据え置いた後、5 年間で年賦・半年賦・月賦による元本均等返済  
 （一括返済可・無利息）

## 4 大学同窓会の活動

学園の諸活動と密接な関係のある大学同窓会は、卒業後のクラス会の開催はもとより、在学生のクラブ活動や諸行事にも校友会本部と一体となって活動しています。これらの活動を支えている卒業生は大学院・大学・短大で約 11 万名に達しています。

大学同窓会では学園と協力して“仕事研究セミナー”を開催しています。また、産業界で活躍している先輩による就職進路相談は就活生に好評です。さらに、卒業生と在学生との交流行事“OB 交歓会”を各キャンパスで開催し、優秀な学生団体に丹羽賞、同窓会奨励賞を授与しています。

### ①丹羽賞

初代学長の丹羽保次郎先生が、生前同窓会に寄せられた基金を基に創設されたもので、

在学会員（在学生）のクラブ活動の育成援助を目的とし、過去 1 年間に優秀な課外活動成果をあげた学生団体に贈られます。

②同窓会奨励賞

昭和 60 年度より設けられた賞で、丹羽賞の対象にはならないが、地道に着実な活動を行っている団体を応援する目的で贈られます。

**5 校友会を訪ねてください**

校友会は、東京千住キャンパス 1 号館 2 階にあります。在学中に先輩のこと、出身地の校友会支部のこと等、知りたいことがありましたら気軽に相談してください。

一般社団法人 東京電機大学校友会  
 〒120-8551 東京都足立区千住旭町 5 番  
 東京電機大学東京千住キャンパス 1 号館 2 階 1203 室  
 TEL : 03-5284-5140  
 FAX : 03-5284-5187  
 E-mail : kouyukai@jim.dendai.ac.jp  
 URL : <http://www.tduaa.or.jp/koyu/>  
 業務時間 9:00 ~ 17:00

# STOP! HARASSMENT

## ハラスメント防止宣言

東京電機大学は、個人の人格と人権が尊重され、それぞれの能力が最大限に発揮されるような、自由な学問と教育の場であることをめざしています。

そのためには、学生等が教育・研究などの諸活動を相互信頼のもとに進められるよう、安全で快適な環境を整えていくことが重要であると考えています。

人間関係において相手を対等な関係と見ることなく、差別したり、性的な対象として心理的、身体的に傷つけたりすることはあってはならないことです。

しかし不測の事態に備え、ハラスメント相談受付窓口を設け、相談内容に応じてハラスメント対策委員会委員長が、適切なハラスメント相談員を紹介あるいはハラスメント調査委員会を組織して事実関係を調査するなど、ハラスメントの防止に取り組むことを宣言します。

平成16年4月1日宣言



**TDU** 東京電機大学  
TOKYO DENKI UNIVERSITY

東京千住キャンパス  
ハラスメント対策委員会

### ハラスメント相談受付窓口

ハラスメントに少しでも悩んでいたら、一人で悩まず、ハラスメント相談受付窓口を利用してください。

詳細は専用パンフレットで確認してください。



## What's HARASSMENT?

「ハラスメント」とは、相手に不快感や脅威を感じさせる不適切な言動のことを意味します。

教職員と学生、サークルやゼミの先輩と後輩など立場を利用したものだけでなく、同級生同士でも相手が不快に感じる言動は「ハラスメント」になります。



### セクシュアル・ハラスメントとは\*

相手の意に反して行われる性的な内容の発言や行動を意味します。

- 性的な関係・交際・行為を強要する
  - 身体に触れる
  - 身体的特徴について話題にしたり、視線を浴びせたりする
  - 性的な話題を聞かせたり、あるいは聞き出そうとする
- 基本的には「対価型」と「環境型」の2つに分けられます。

#### 対価型

対価型とは、強い立場を利用して相手の処遇に便宜を図る対価として性的要求をしたり、弱い立場の人がそれを拒否した場合、その人を不利な状態に陥らせたりするものを言います。

- 成績評価や指導面、処遇面などの条件に性的関係を迫る。
- 酒席や交際を断られたこと等を理由に成績評価や指導面、処遇面などについて不当な扱いをする。

#### 環境型

環境型とは、周囲の人が不快になるような性に関する文書・写真を掲示したり、言葉や行為などによって環境を悪化させることを言います。

- 卑わいな冗談を言ったり、異性の差別的発言をする。性的な噂を流したり、個人的な性的体験談を話したり、聞いたりする。
- ヌードポスターやわいせつ図画等を掲示、配布したり、パソコン等に卑わいな画像を表示する。

#### これは、セクハラ!

- 相手の身体を上から下までジロジロ見つめる。
- 相手の髪・肩・背中・腰など身体を不必要に触る。
- 相手のスリーサイズを聞く、身体的特徴を話題にする。
- 異性との仲を噂する。
- 講義中に教員が卑わいな発言や、差別的な発言をする。
- コンパの席で男性教員（先輩）の横に女子学生を必ず座らせ、お酌をさせる。
- 食事やデートにしつこく誘う。性的な内容の電話をかけたり、手紙やメールを送る。

#### これもセクハラかも・・・

- 挨拶代わりに毎日、肩をたたく。
- 「男のくせに根性がない」、「お茶を入れるのは女の仕事」、成人に対して「男の子・女の子」、「おじさん・おばさん」など人格を認めないような呼び方をする。
- 「いいプロポーションだね」、「ミニスカートが魅力的だね」と言う。
- 「何で結婚しないの?」、「子供はまだなの?」と聞く。

## アカデミック・ハラスメントとは\*

教育・研究の場における権力を利用した嫌がらせ、差別、人格を傷つける発言などを指します。



### これはアカハラ！

- 卑わいな発言に抗議したら、「冗談の通じないやつには単位をやらない」と言われた。
- 「お前はやっぱりダメだ」と言って指導を放棄された。
- 「大学をやめろ」とか「卒業させない」と必要以上に何度も言われた。
- 同じ研究チームなのに、理由もなくはずされたり、理由もなく論文著者名の変更などされた。

### 大切なのは相手の判断

あくまでも相手の受け止め方によるものであり、言動を受けた者が不快に思うかどうかによって判断されます。  
拒否または、服従したかどうかは問題になりません。

もし、あなた自身が  
ハラスメントを受けていると  
感じたら\*

- 勇気をもって、「NO」の意思表示をしましょう。相手に言葉ではっきり伝えることが大切です。
- 誰から、いつ、どのような被害を受けたかなど、できるだけ詳しく記録しておきましょう。
- 信頼できる周囲の人に相談しましょう。

ハラスメントの現場に  
居合わせたなら\*

周りの人にも  
できることがあります

- 自分の周囲で被害にあっている人がいたら、毅然として「いけない」とはっきり言いましょう。
- 被害にあっている人の相談にのりましょう。必要な場合は証人になることもできます。
- 解決が難しいと感じた場合は、ハラスメント相談受付窓口に行くように勧めたり、必要に応じて同行しましょう。

加害者にならないために\*



私たちは、誰でもハラスメントの被害者になる可能性があると同時に、加害者になる可能性もあります。自分でも気がつかないうちに相手に不快な思いをさせたり、相手の心をひどく傷つけているケースも多々あります。その場合、必ずしも相手が不快の念を表明するとは限りません。対等でない立場にいる場合、相手に遠慮して話せない心理状態に追い込まれていることも考えられます。

ハラスメントを起こさないために、日頃から相手の気持ちを気遣うように心がけ、日々の自らの言動をチェックし、お互いを尊重し、認め合う関係を築くよう心がけることが大切です。



新入生へ
学生生活
学修案内
共通
EJ
EH
ES
EK
EF
EC
履修案内
UNIPA
資格・免許
教職課程
事務取扱い
学籍・学費
<b>生活案内</b>
各種施設
就職・進学
学則・規程
沿
革
校歌・学生歌
警・研究組織
キャンパス案内

# 第10章 各種施設

新入生へ
学生生活
学修案内
共通
EJ
EH
ES
EK
EF
EC
履修案内
UNIPA
資格・免許
教職課程
事務取扱い
学籍・学費
生活案内
<b>各種施設</b>
就職・進学
学則・規程
沿革
校歌・学生歌
警・研究組織
キャンパス案内



# 1 東京千住キャンパス 開館時間

東京千住キャンパスの開館時間は以下の通りです。

	平日（土曜日も含む）	祝休日
1号館	7:30～22:30	終日閉扉
2号館		
3号館		
4号館		
東京千住アネックス	7:30～21:00	

- ※ 休業期間中および各種行事日等においては、別に指示します。
- ※ 卒業研究等の理由により、やむを得ず研究室等に残留を希望する場合には、あらかじめ指導教員へ申し出てください。許可が得られた場合に限り、指導教員が該当施設の施錠・解除の予約設定（平日 22:30～翌日 7:30（休日は 9:00～18:00））をします。

# 2 厚生施設・運動施設

## (1) テニスコート

体育の授業以外の下記時間帯に利用できます。利用申請は、利用日前日または当日の窓口時間内に受付けます。学生支援センター（学生厚生担当）窓口でテニスコート利用願を提出し、許可を受けてください。

### ●利用条件

テニス道具一式（ラケット・ボール・シューズ等）を各自で持参してください。

### ●利用可能時間

月～土曜日（祝祭日除く） 9:00～18:00 ※1グループあたり最長2時間まで

## (2) トレーニングルーム（3号館2階）

体育の授業以外の下記時間帯に利用できます。利用申請は、別途 UNIPA にて連絡します。

### ●利用可能時間 月～土曜日（祝祭日除く） 9:00～21:00

## (3) ランニングコース（1周100m、2号館屋上）

### ●利用可能時間 月～土曜日（祝祭日除く） 9:00～17:00

※体育館及び千住アネックステニスコートは、現在のところ、一般学生には開放していません。

## 3 学生食堂と売店について

### (1) 学生食堂

3号館2階とM2階に学生食堂があります。

2階では定食類、M2階では麺・丼ものを中心に販売しています。

【営業時間】 月～金 2階 8:00～20:00

M2階 11:00～14:00

土曜 2階 11:00～15:00

※夏季・冬季休業期間中等、授業期間外は別途定めます。

※営業時間は変更となる場合があります。

### (2) 売店

3号館3階に売店があります。

菓子類やドリンク、書籍、文具等の販売を行なっています。

また、貸しロッカーの年間貸出も行なっています。

【営業時間】 月～金 8:30～19:50

土曜 11:30～18:30

※夏季・冬季休業期間中等、授業期間外は別途定めます。

※営業時間は変更となる場合があります。

### (3) その他飲食物の販売

・各号館各所にドリンクの自動販売機を設置しています。

・3号館1階ではパン屋の出店も行なわれています。

## 4 総合メディアセンター

総合メディアセンターでは、学生と教職員の教育・研究活動のために、学園全体にさまざまなサービスを提供しています。総合メディアセンターのサービスは、東京千住キャンパスはもとより、埼玉鳩山キャンパス（理工学部）、千葉ニュータウンキャンパス（情報環境学部）でも1つのIDとパスワードで利用することができます。

### 学生証

図書資料の貸出、コンピュータの利用（印刷）、入退室管理、総合メディアセンターのサービスを利用するときに必要です。学内では必ず学生証を首から下げるようにしてください。



## パスワード

パスワードは、総合メディアセンターの各種サービスとポータルサイト（DENDAI-UNIPA）を利用するために必要です。他人に乱用されるなどの悪用を防ぐよう責任をもって管理してください。個人データとシステムを守るために初期パスワードは必ず変更してください。推測されやすいパスワードは危険ですので、他人に判らず、自分が忘れないものにしましょう。また、パスワードを定期的に変更し、セキュリティ確保に努めるようにしてください。

## サービス時間

授業期間中は下記時間帯に利用できます。

場所	施設	開館時間
2号館 1、2階 (入口は1階のみ)	図書館	月～土（休講日除く） 8:45～21:45 (一部施設は21:30まで)
2号館 4階	PC教室	月～土（休講日除く） 9:00～21:30

都合により変更になる場合があります。また、休業期間中にも開館している日がありますので、詳細は総合メディアセンターのWebページもしくは掲示を確認してください。

### 総合メディアセンターのWebページ

<http://www.mrcl.dendai.ac.jp/>

各サービスのメニューが表示されます。

見たいサービスやカテゴリをクリックしてください。

## 利用上の注意

- 環境保持のため、施設内に飲食物を持ち込むこと・喫煙は堅く禁止します。  
※ただし、図書館内では、蓋のできる密閉容器に入った飲み物に限り、持込みを認めています。
- 総合メディアセンター施設内には、濡れたままの傘を持ち込むことを禁じています。濡れた傘は、備え付けの傘袋に入れて持ち込んでください。
- 他の利用者の迷惑とならないようマナーを守って利用してください。
- 携帯電話の通話は禁止します。どうしても使用したいときは、総合メディアセンター施設から退出して使用してください。
- 総合メディアセンター内ではスタッフの指示に従ってください。指示に従わない場合は退出していただきます。
- 総合メディアセンターの施設および資源は、教育・研究を目的としたものです。目的以外に利用した場合、その他、不正行為を行った者は、学則に則って処分します。

# 図書サービス

## (1) 図書資料の貸出

借用したい図書資料に学生証を添えて、カウンターへ提出してください。自動貸出機を利用して貸出手続きをすることもできます。また、他キャンパス所蔵の図書資料も、取り寄せて利用することができます。

### ■貸出冊数と貸出期間

対象	貸出冊数	貸出期間
学部1～3年生	5冊	2週間
卒業年次生（学部4年生）	10冊	1ヶ月
大学院生	10冊	1ヶ月

※予約者がいなければ、貸出期間の更新ができます。返却期限日までに手続きをしてください。更新は、自動貸出機を利用するか、または、図書WebページからIDとパスワードを入力するだけで簡単に手続きすることができます。

### 注意！

図書資料を延滞した場合、遅れた日数分貸出停止となりますので注意してください。  
なお、借用中の図書資料を紛失したり汚損したりした場合には、弁償していただきます。

### ■館内利用の資料

1	禁帯出の赤ラベルが貼ってある図書資料
2	雑誌
3	修士論文および学位論文（複写も不可）
4	視聴覚資料（DVDなど）
5	貴重書

※上記1～4の他キャンパス資料は取り寄せが可能です。  
カウンターで手続きをしてください。

### ■コピーについて

図書資料の複写は図書館内の複合機を利用してください。  
著作権に関しては、利用者が全責任を負うものとします。

※著作権に関する注意（著作権法第31条より抜粋）

図書館においては、次に掲げる場合には、図書資料を複製することができる。

図書館等の利用者の求めに応じ、調査研究のために公表された著作物の一部分の複製物を一人につき一部提供する場合。

## (2) 図書資料の返却

借用図書は、定められた期日までに返却してください。返却はどのキャンパスでも可能です。返却期限日は、図書 Web ページから簡単に確認することができます。卒業・退学・除籍・転学・休学などの場合は、貸出残余期間にかかわらず即時返却してください。

休館日、開館時間外の返却は、ブックポストを利用してください。ブックポストは、各キャンパスの総合メディアセンター正面出入口に設置されています。

東京千住キャンパスでは、2号館1階に設置しています。

## (3) 図書資料の購入

購入希望の図書資料は、図書 Web ページから依頼することができます。購入不可の場合と、購入後貸出可能となったときに、メールで連絡します。

## (4) 図書資料の予約

図書資料は、図書 Web ページから予約することができます。図書資料が到着したらメールでお知らせします。貸出可能日以降にカウンターへ取りに来てください。

	所属キャンパスの資料	他キャンパスの資料
予約できる資料	貸出中のもの	貸出中のものも含めて全て
貸出可能日	総合メディアセンターからのメールの発信日	
取り置き期間	7日間	

※資料が各キャンパスに届くまでの日数

東京千住 ⇄ 埼玉鳩山・千葉NT 1～2日

埼玉鳩山 ⇄ 千葉NT 2～3日

※状況によって日数に変更になる場合があります。

**(5) 各種サービス**

レファレンスサービス	図書資料および利用方法に関する質問、学内（外）の情報検索等についてカウンターのスタッフが相談に応じます。
相互利用サービス	必要な資料が本学にない場合は、学外諸機関、他大学図書館等を調査して文献の複写・図書資料の貸借依頼や利用案内、紹介をします。
検索サービス	本学で所蔵している図書資料は、図書館内のパソコンで自由に検索できます。また、総合メディアセンターの図書 Web ページを利用して検索することも可能です。
当日貸出サービス	グループスタディ（予約制）の利用や、プロジェクター・ノート PC などの各種機器、USB 扇風機・ひざかけなどの貸出を行っています。

Web によるお知らせとサービス (<http://lib.mrcl.dendai.ac.jp/>)

図書 Web ページで以下の情報を公開、サービスを提供しています。

- ・ 資料検索
- ・ 図書資料予約
- ・ 返却期限の確認（自分が借用している図書資料の返却期限の確認）
- ・ 借用図書の出借期間の更新
- ・ 文献複写・ 図書資料貸借依頼 〈有料〉
- ・ 図書購入依頼（購入希望図書の申込）
- ・ 新着図書情報
- ・ ベストリーダ情報（よく利用される図書資料）
- ・ オンラインジャーナル（IELOnline、ACMPortal、他多数）
- ・ 各種データベース
- ・ 電子図書館

**メールによるお知らせ**

図書サービスに関する連絡は主にメールで行っています。メールはすべて学籍番号宛になります。学生の場合は、学籍番号 @ms.dendai.ac.jp です。

以下のような連絡をメールで行いますので、常に確認してください。

- ・ 予約図書資料到着のお知らせ
- ・ 貸出・更新・返却履歴（前日分）のご案内
- ・ 返却期限日のお知らせ（返却期限日の 1 日前に連絡）
- ・ 延滞のお知らせ（返却期限日以降に連絡）
- ・ 文献複写・ 図書資料貸借到着のお知らせ
- ・ 購入希望図書到着・却下のお知らせ

## (6) 各種設備

メディアゾーン	開架書架・集密書架エリアには、図書がNDC（日本十進分類法）により主題別に分類されています。また、集密書架エリアには学術雑誌（バックナンバー一部含む）も配架されています。受験書や就職本、旅行・レジャー・地図などの図書のコーナーも設置しています。読みたい本を自由に探して閲覧することができます。静粛閲覧エリアもあります。
ラーニングゾーン	グループスタディエリアは、ディスカッションしながらの学習や、プレゼンテーションの練習等、グループで使用することができます。ラーニング commons エリアは、相談しながら学習が可能なエリアです。可動式のホワイトボードを設置しています。
リーディングゾーン	閲覧エリアとブラウジングエリアがあります。ブラウジングエリアは、くつろいで新聞や雑誌を読みたいときに利用してください。また、日替わりで本学の所蔵しているDVDを放映しています。

### 図書サービスに関するお問い合わせは下記まで

2号館 1階または2階のカウンター

メール：k-library@mrcl.dendai.ac.jp

## コンピュータサービス

総合メディアセンターでは、コンピュータ関連のシステムを数多く整備しています。ここでは、みなさんが直接利用するシステム、サービスを紹介します。活用してください。

### (1) ユーザ端末システム

総合メディアセンターが管理運用しているPCです。1つのID(学籍番号)とパスワードで、全キャンパスのユーザ端末システムが利用できます。

授業が実施されていないPC教室は自習利用として開放しています。また、自分のPCからユーザ端末システムと同等な環境を利用できるリモートサービスも備えています。授業・研究で利用するための多種多様なソフトウェアがインストールされていますので活用してください。

ただし、システム保護のため、ソフトウェアのインストールや各種設定の変更等はできませんのでご了承ください。

### (2) プリントシステム

ユーザ端末をはじめ、学内ネットワークに接続されたPCから利用できるオンデマンド方式の印刷環境です。プリント・コピー・スキャンができる複合機やモノクロ・カラー大判プリンタがあります。ただし、教育・研究目的以外の利用は禁止しています。

プリントシステムは印刷ポイントによる出力管理を行っています。毎年度初めに各ユーザに



初期ポイントとして 1000 ポイントを付与し、利用の度に利用種別に応じたポイントが消費されます。ポイントの追加には、申請書が必要です。必要ポイント数の証明書発行願を購入し、2号館4階PCカウンターへ提出してください。ただし、年度をまたぐポイントの持ち越しはできないので注意してください。

参考) ユーザ端末、プリンタ設置台数

場所	室名	ユーザ端末	複合機	モノクロ大判	カラー大判
1号館6階	学生ラウンジ		1台		1台
2号館1階	閲覧エリア1		1台		1台
2号館2階	閲覧エリア4	4台	2台*		
	静粛閲覧エリア		1台		
2号館4階	PC教室1	84台	1台		
	PC教室2	42台	1台		
	PC教室3	68台	1台		
	PC教室4	56台	1台		
	PC教室5	80台	3台	2台	
	PC教室6	50台	2台	1台	1台
	PC教室7		1台		1台
	プリントルーム	2台	1台	1台	1台

※閲覧エリア4に設置している複合機の1つは現金利用複合機です。

※設置場所や設置台数は変更する場合があります。最新の情報は、Webページで確認してください。

### (3) メールシステム

学生には入学と同時にメールアドレスが付与されます。

メールアドレスは、学籍番号@ms.dendai.ac.jpです。

ブラウザを利用したWebメールシステムも提供しています。自宅、外出先から、Internet Explorerなどのブラウザが使える環境があればメールの送受信が可能です。また、メールを他のメールアドレスや携帯電話に転送するよう設定ができますので活用してください。

大学からのお知らせが個人宛に送られてきますので、日々確認してください。

マナーを守り、コミュニケーションツールとして利用してください。

### (4) ネットワーク

#### ■無線LAN

東京千住キャンパス内では、ほぼ全域で無線LANの利用が出来ます。

#### ■情報コンセント

東京千住キャンパスでは、以下の場所に情報コンセントを備えています。

場所	施設名称
1号館2階	丹羽ホール
2号館1階	図書館
2号館2階	図書館
2号館4階	PC教室5(一部)、PC教室6(一部)、PC教室7
2号館9階	2901、2903教室
2号館10階	21001、21003、21004、21005教室

利用に際しては認証が必要になります。利用方法につきましてはWebページを参照してください。

\*\*\*\*\*

### インターネットの利用について

- ・インターネットを経由して学外のコンピュータへ接続することは、学外の手機関の通信用コンピュータや専用回線などを利用することになります。快適な利用をするために、無駄な接続やデータ転送をしないよう心がけて利用してください。
- ・総合メディアセンターでは快適な利用ができるように、ネットワークの利用状況を常時モニタリングしています。
- ・メールアドレスを間違えたり、むやみに大量データの送受信をしたりしないでください。
- ・インターネット上の情報(文章・画像・音声等)の取り扱いは、著作権を侵害しないよう細心の注意を払ってください。また、「学内ネットワークを利用した営利行為」「迷惑メールの発信」「個人・特定団体への誹謗・中傷」「著作権侵害行為」などの悪質な行為は、学則に則って処分します。
- ・コメントの書き込みや記事の投稿が可能なソーシャルメディアを利用する場合には、不用意な言動が、あなた自身や家族に深刻な状況をもたらすことがあります。投稿内容は様々な地域や立場の人たちが目にします。それぞれ様々な文化的背景や価値観を持っている人たちです。ある人には問題のない言動であっても、別の人に対しては攻撃的であったり、配慮に欠けた言動と捉えられる場合があります。投稿する話題の選び方、言葉遣いと表現には注意しましょう。

\*\*\*\*\*

### (5) ソフトウェアライセンス

学生所有のPCにおいても大学で契約しているライセンス形態に応じて、利用できるソフトウェアがあります。

例) Microsoft 製品 ,Autodesk 製品 ,Mathematica,MATLAB,Chem Bio Draw 等ソフトウェアによりサービス内容が異なりますので、詳しくはWebページを確認してください。

さい。

## (6) PC 周辺機器貸出サービス

2号館4階PCカウンターでは、以下のPC周辺機器を貸し出しています。必要な場合には窓口まで申し出るようにしてください。

- ・外付けDVDドライブ
- ・ヘッドセット（授業利用優先）
- ・LANケーブル（1m）
- ・カードリーダー（SDカード、MS、CF等対応）

貸出日当日に返却してください。

## (7) サイネージ（電子掲示板）・KIOSK 端末

東京千住キャンパスのラウンジやロビーの各所にはサイネージ・KIOSK 端末が設置されています。

サイネージには休講補講情報や大学からのお知らせ等が表示されますので確認してください。また、KIOSK 端末に学生証をかざすと、ポータルサイト（DENDAI-UNIPA）や図書館のWeb ページ、またサイネージの掲示を確認することができますので活用してください。

## (8) 相談、申請

### ■パソコン操作やプログラム作成時のエラーなどで困ったとき

本学の大学院生が白衣を着用し利用相談員として勤務しています。

期 間：授業期間中

場 所：2号館4階PC教室

※原則、自習開放している教室に勤務しています。

メール：pg-soudan@ms.dendai.ac.jp

※メールでの質問は授業期間中ならば随時受け付けています。

### ■各種申請手続き

総合メディアセンターへの申請手続きは、2号館4階PCカウンターにて受け付けています。

- ・プリントポイント追加申請

申請書の他に証明書自動発行機で「総合メディア印刷ポイント」の購入が必要です。

- ・パスワード初期化申請

パスワード初期化には2運営日かかります。初期化が必要とならないよう注意しましょう。

場 所：2号館4階PCカウンター

メール：k-computer@mrcl.dendai.ac.jp